

岡山北ロータリークラブ入会案内

[1] ロータリーとは

「人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業及び専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である。」と定義されています。

ロータリーは友好と奉仕を志す人々の世界的な団体で「奉仕の理想(ロータリーの奉仕理念)」を信条とし、会員は職業を異にする善良な成人で形成され、各種の職業から代表として選び、それぞれの地域にロータリークラブを結成し奉仕活動を展開しています。

<ロータリーの創立と発展>

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所が持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして、1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれ、国境を越えて、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数37,059、会員総数1,174,890人に達しています(2021年6月)。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリー(RI)と称します。

このように歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

<日本ロータリーの歩み>

わが国最初のロータリークラブは、1920年(大正9年)に創立された東京ロータリークラブで、当時三井銀行重役の米山梅吉氏が、国際ロータリーから委任されて、東京に設立されました。次いで、大阪、神戸など次々にクラブが出来ました。太平洋戦争中には一時脱退しましたが、1949年に国際ロータリーに復帰しました。現在では、クラブ数2,265、会員数87,377人と、めざましい発展を遂げています。

[2] ロータリークラブの構成

国際ロータリー（ Rotary International : R I ）

世界中のロータリークラブの連合体で、本部は米国イリノイ州エバンストンにあります。トップは、R I 会長と呼ばれ任期は1年です。毎年1回、国際大会が開催され、会員なら誰でも参加できます。

地区（ District ）

R I の管理の便宜上、全世界のロータリークラブを地域別に分けています。

現在、世界には534の地区があります。日本には、第2500～2840地区があり、全部で34地区、2227クラブがあります。地区の代表は、地区ガバナーと呼ばれ任期は1年です。通常ガバナー所属のクラブがホストとなり、毎年1回、地区大会が開催されます。地区内全会員の集いです。

岡山・鳥取・島根の3県はRI第2690地区に所属し、現在65クラブ、会員数2966名です(2021年4月末)。

グループ(Group)

地区は、数クラブのグループに区分されています。RI第2690地区は11グループ(各5～8クラブ)からなり、岡山北クラブは第10グループ(5クラブ)に所属します。毎年1回、1、2グループ単位の会合が開催されます。この会合のことを都市連合会[インターシティー ミーティング(Intercity Meeting : I M)]といいます。

クラブ（ Rotary Club : R C ）

クラブは、会員相互の親睦を深め、有意義な奉仕活動を実践する場です。会員は、1業種5名までで構成され、必ず何れかの委員会に所属します。原則として、週1回の例会を開き、会員は出席義務を負います。

クラブの管理主体は、理事・役員からなる理事会です。理事会は、毎月1回開かれ、クラブ運営の最終意思決定機関になります。クラブには、五大奉仕部門(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕)を含むさまざまな委員会があります。

ロータリーは、毎年7月からスタートし翌年の6月までの単年度で運営されます。役職・委員会も年度ごとに交代します。

〈 例会出席とメイクアップ(出席の補填) 〉

岡山北クラブでは、毎週火曜日、12:30～13:30、ホテルグランヴィア岡山で、定例会を行っています。特別支障のない限り最後まで出席しましょう。

欠席した例会の同じ年度内に、他クラブの例会、RI主宰の会合、理事会の認めた会合や行事に出席すると欠席分を補填できます。これをメイクアップといいます。

[3] 岡山北ロータリークラブの概況と年間行事

1969年(昭和44年)2月8日、岡山RCをスポンサークラブとして創立しました。

1972年、総社RCを創立しました。1991年、岡山北西RCを創立しました。

1994年、高知床志会員が第2690地区ガバナーに就任し、地区大会のホストクラブを務めました。

- ①会合→地区大会、I M、ガバナー公式訪問、協議会、年次総会、フォーラム、IDM
- ②親睦会→新年会、観月・創立記念夜間例会、クリスマス家族会、花見・家族親睦会
- ③奉仕活動→優良従業員の表彰、ミニバスケットボール大会共催(小学生)、タイの小学校に靴・自転車寄贈、「鎮守の森」再生のための植樹事業、岡山北RC奨学金制度

[4] 経済的負担と出席義務

年会費：235,000円、例会の食費を含むクラブ運営費で、前・後半に半額分納。

特別会費：20,000円。記念事業準備金：10,000円。記念品代：10,000円。

IM登録料：8,000円。

その他：RI・地区負担金、米山寄付金など。合計で1年間30万円程度。

<入会時必要額>

- ① 入会金：現在はありませぬ。②年会費：半期分の月割り額。

<出席義務>

- ①メイクアップなしで連続4回例会欠席。②年度の前半、後半の各6ヶ月間において、メイクアップを含む出席率50%未満または本クラブの例会出席率30%未満。上記①②の場合には、出席免除者を除き、会員身分の終結となることがあります。

[5] 入会の動機とメリット

初期のロータリークラブ入会動機

- ①新しい友人を得る→親睦
- ②クラブ活動を通じて個人奉仕をする→奉仕活動の実践
- ③社会的なつきあいによって人間性を高める→自己研鑽
- ④専門職種の人とのつきあいによって利益を得る→職業奉仕の原型

入会することのメリット

- ①人前で話すことに習熟する。②国際的な感覚が身につく。③リーダーシップが豊かになる。④思いやりの深い人になる。⑤事業の繁栄に繋がる。⑥奉仕する機会が増える。⑦その他(友情・ビジネス上の発展・倫理観の醸成・文化的意義・好人物との交流・名声などたくさんあります)。

(参考資料)「ロータリーの友」、「ロータリー情報マニュアル」RI第2650地区、「新会員オリエンテーション」児島RC、「ロータリーの源流」RI第2680地区 田中毅 PDG